

小三
ちば
いじまきだひろ



三年
いじまきだひろ

小三
ちば
野村和宏



三年
野村和宏

小三
うみ
いわさわひろみ



三年
いわさわひろみ

小三
ちば
つちやしげよ



三年
つちやしげよ

小三
ちば
たかし



三年
すずきたかし

小四
れいお
斉藤佳織



四年
斉藤佳織

五年
国道
小池佳子



五年
小池佳子

五年
国道
布施和彦



五年
布施和彦

五年
国道
宇沢孝治



五年
宇沢孝治

五年
国道
土屋佳美



五年
土屋佳美

我が家の家庭教育

シリーズ ②⑧

古屋 椎名 雅子

この十五年間を振り返って、どの様に子どもに接してきたか私自身を思い出してみました。

小さい頃の我が子は体が弱く、他人の子どもの分まで病気を一手に引き受けているのではないかと思えるほど、お医者さんのお世話になっておりました。ですから、特に健康面に力を入れ、躰の方はおろそかになっていったと思います。小学校に入学してから、家庭教育の重

要さに驚き、子どもに接する態度を改めて考えさせられ、家庭教育学級生として多くの先生方より子育ての難しさ等、いろいろお聞きしてまいりました。特に印象深く聞き入った「負うた子に瀬を教えられ」という諺です。子どもの言葉使いや動作が、親自身の姿をそのままに写しとるので、親はその負うた子どもの姿を見て、自分の言語や態度を慎み、負うた子どもによって自分自身を反省させられる。子どもは親の心をいろいろに実演して見せてくれる名優である。その語を聞いて、親の生き方が、子どもにどれだけ大きな影響を与えるかを知り、私なりに努力してまいりました。

やがて反抗期を迎え、いろいろな問題

を投げかけてまいります。どうして良いかわからなくなった時もありましたが、子どもが納得するまで話し合い、時には涙を流した事もありました。

中学生になると新しい友達も沢山できクラブ活動を通じて体力を養い、青春の汗と涙を流し充実した毎日を送り、先生方の御指導のおかげで素直な明るい元氣な子に成長いたしました。今春人生第一の試練、高校入試も無事乗り越え、自分の選んだ道に向って一日一日を大切に通学しております。

この先幾多の困難に直面するかわかりませんが、社会に貢献できる人間に成長してくれる事を望み、見守ってあげたいと思います。